

北山田留守家庭児童育成室運営業務委託事業者評価シート（令和6年度）

I 育成室の概要

(1) 児童数・教室数（令和7年3月1日時点）

児童数 124人（うち配慮を要する児童4人）						教室数
内訳	1年	2年	3年	4年	5・6年	3教室
	42人	23人	30人	29人	0人	

(2) 受託事業者

新都共栄株式会社（契約期間：令和3年4月～令和8年3月）

2 運営状況に対する評価

	評価項目・視点	評価点 (0～3)
1	児童との関わりについて ・指導員と児童との関係づくり、信頼関係構築など	3
2	保育内容について ・集団遊び等による自主性や社会性を培う取組など	3
3	運営体制について ・指導員の配置、知識・経験など	3
4	育成室環境について ・生活空間の確保、衛生環境など	3
5	おやつの提供について ・栄養バランスの配慮やアレルギー対応など	3
6	学習活動について ・宿題等の取組のためのスペース確保など	2
7	保護者・学校との連携について ・保護者や教職員との情報交換など	3
8	配慮を要する児童（障がいを有する児童）の保育について ・児童の発達段階に応じた適切な人員配置など	2

3 総合評価（所見）

- ①全体として、仕様書の内容を高い水準で履行し、事業目的を踏まえた保育や運営が良好に行われており、児童の健全育成に大きく貢献している。
- ②保護者アンケートの「子どもは、育成室の活動や行事を楽しみにしている。」、「育成室の遊びの取組について」、「育成室でのおやつの提供について（栄養面、量、種類）」、「育成室を安心して利用することができている。」の設問では、肯定的な回答がいずれも97%以上であり非常に高い割合である。
- ③同じ行事・取組でも内容を少しずつ改良し、実施している。また、リーダーとなる3・4年生の育成に力を入れており、イベントや行事の際には、リーダーとして職員とともに学級をまとめるようにしている。その結果の現れの一つとして、保護者アンケートの「子どもは、育成室の活動や行事を楽しみにしている。」の設問では、全ての回答が「思う・少し思う」となっている。
- ④一日保育時の昼食提供については、職員クッキングを実施しているが、宅配弁当等の導入などの保護者の声も少なからずあるため、引き続き保護者のニーズにも応じた取組の検討に努められたい。